

大牟田市の有明高専電
子情報工学科の学生が、

障害者の意思表示補助

有明高専生が福祉器具開発

柳河特別支援学校に寄贈

重度の身体障害や言語障
害がある人の意思表示を
手助けする福祉器具を開
発し、15日に柳川市の県
立柳河特別支援学校に贈
った。



自分たちが開発した福祉器具の説明をする
有明高専の学生(左)

器具は、ボタン操作で
円形のホワイトボードの
周囲に取り付けたLED
ランプのうち1カ所を
点灯させて、ボードに書
かれた「はい」「いいえ」な

どを示す仕組み。同科の
石川洋平准教授の研究室
に所属する学生が昨年6
月から半年掛けて開発。
昨年12月に九州の大学や
高専生を対象に開かれた
「大学発ベンチャー・ビジ
ネスプランコンテスト」
では優秀賞を受賞した。
この日は、5年の古賀
直樹さん(21)と井上陽平
さん(20)が、石川准教授
とともに訪れ、特別支援
学校の生徒たちに器具の
使い方を指導。生徒たち
は思い通りの部分のラン
プが光ると目を輝かせて
いた。古賀さんは、特別支
援学校から細かい要望を
聞き、さらに使いやすい
ものにしたいと話した。